

# パイロットフォレストの一般開放事例の報告について

根釧西部森林管理署 森林技術指導官 岩上 浩之  
業務グループ員 金子 裕馬

## 課題を取り上げた背景

厚岸町と標茶町にまたがり、別寒辺牛川の中流域に約10,000haの湿原を造成したパイロットフォレストは、昭和31年に造成計画が策定されてから約60年にわたって育成されてきました。

しかしながら、大面積の造林地で絶え間なく間伐等の事業を実施していることもあり、一般の方の入林を制限してきたことから、地元の方にもあまり知られていませんでした。

一方では、イベント時のアンケートからパイロットフォレストに興味を持っている方もいるということがわかり、職員のガイドによりその歴史と役割を知ってもらうと共に、カラマツの新緑と黄葉を楽しんでいただくため、試行的に望楼の一般開放を実施した結果について報告します。



＜黄葉のパイロットフォレスト＞

## 取り組みの内容

厚岸・標茶両町の広報誌への掲載と新聞への折り込み広告により、地域への告知を行いました。

来訪希望日を事前に申し込む方式で、担当職員が現地近くで待ち合わせて望楼まで案内し、造成の歴史などを説明しながら展望台まで登り、そこから360度のカラマツ林の眺望を楽しんでいただきました。

平成25年10月に実施した初回の一般開放では、追加宣伝を実施した結果、地元の小学生をはじめ町内外から62名の方に来訪していただき、パイロットフォレストの役割をPRできました。

平成26年6月には、初回の際のアンケートで要望が多かったことから、日数は少なくなったものの土日も含めての日程で実施し、多くの方から好評をいただくことができました。



＜パイロットフォレストを一望できる望楼＞

## 今後に向けて

来訪者へのアンケート結果では、パイロットフォレストという名前は知っていても足を踏み入れたことがないという人がほとんどで、今後の対応について検討の必要性を感じる結果となりました。

来訪者から好評を得たことと継続を希望する意見が多かったことから、事業実行や有害鳥獣駆除との調整を図りながら、今後の実施に向けて準備をしていきたいと考えています。

～MEMO～